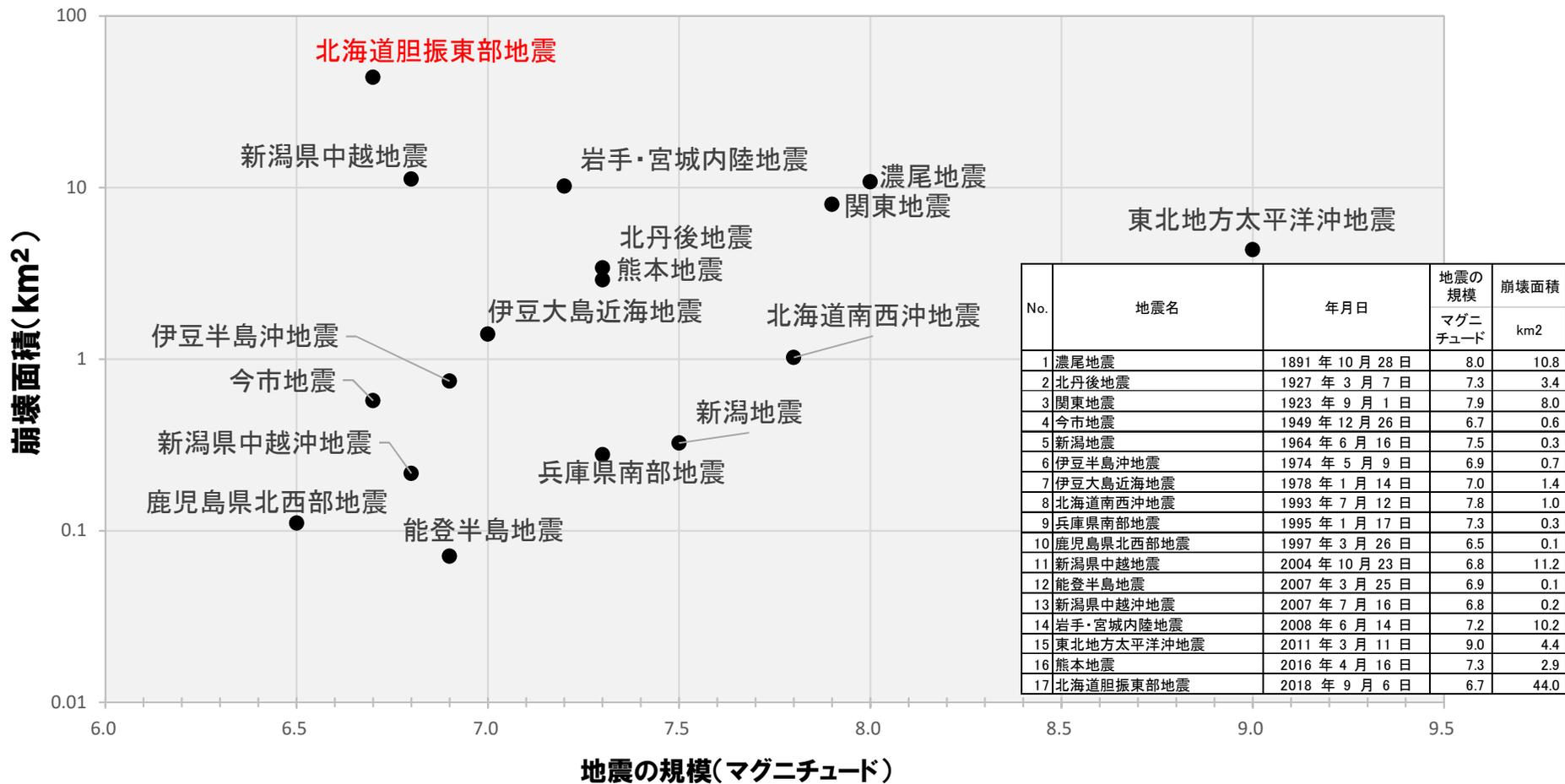


北海道胆振東部地震の崩壊面積と過去の地震災害の比較

北海道胆振東部地震の崩壊面積は、明治以降の主要な地震災害の中で最も多い

過去の地震の規模と崩壊面積



- 北海道胆振東部地震のデータは(国研)寒地土木研究所調べ。航空レーザー測量成果から表層崩壊及び地すべり性崩壊の面積を集計した数値「村上ら:平成30年北海道胆振東部地震における総崩壊地箇所数及び面積について、令和2年度砂防学会北海道支部研究発表会」を使用。
- 過去のデータは『武澤2013:地震による斜面崩壊発生場の予測に関する研究』のデータを使用。そのうち1997年の鹿児島県北西部地震のデータは、3月26日の地震の後に発生した5月13日の地震による新規・拡大崩壊も加えている。
- 上記のデータにないもののうち、新潟県中越地震については「関口ら2006:新潟県中越地震における斜面崩壊の特徴と分布」、岩手・宮城内陸地震については「yagi et al(2009)」、東北地方太平洋沖地震については「Tanyas et al(2017)」、熊本地震については「立野ダム建設に係る技術委員会報告書」のデータを使用。